

6 地域比較

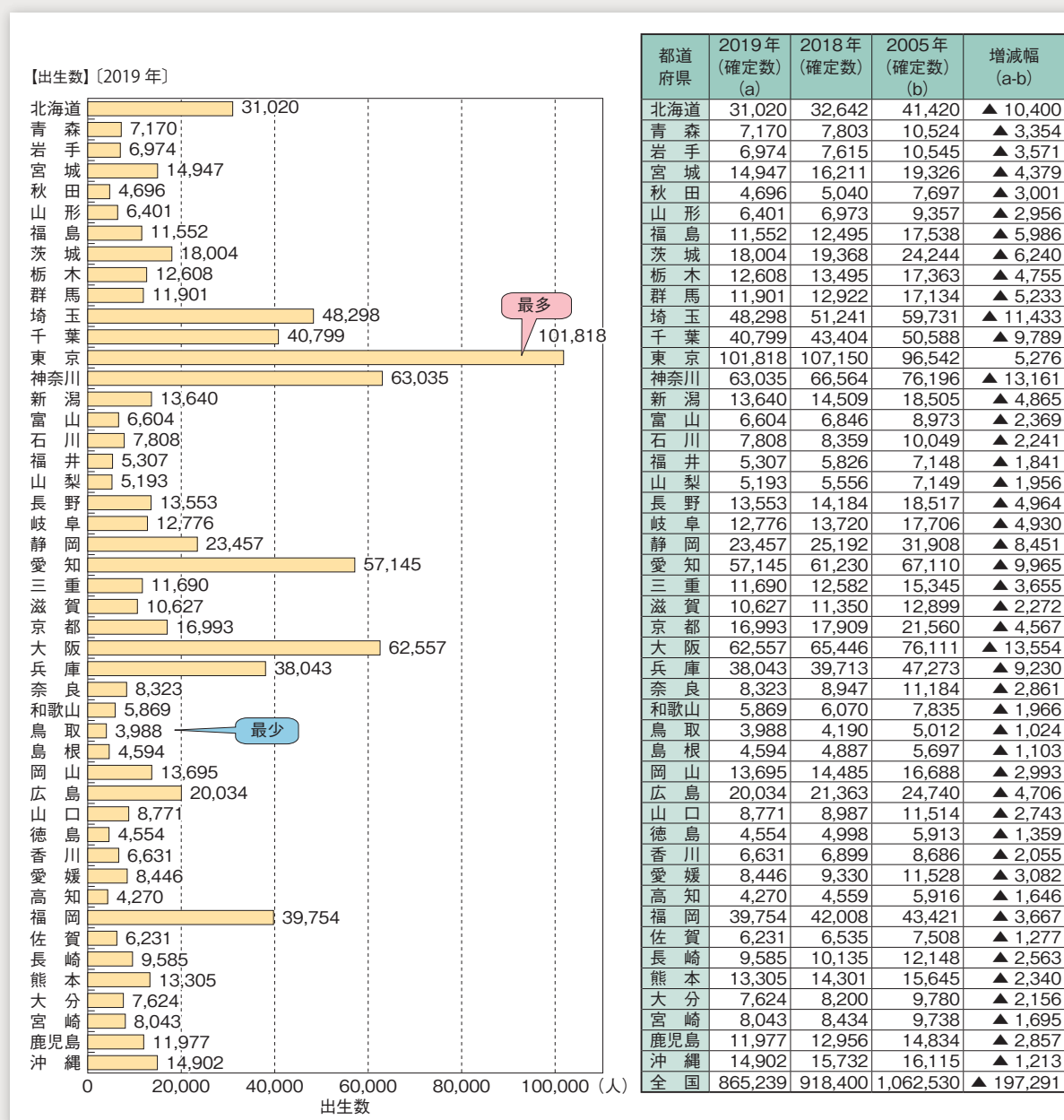
都道府県別出生数・合計特殊出生率の動向

2019年の都道府県別の出生数を見ると、出生数が最も多いのは東京都（101,818人）であり、次は神奈川県（63,035人）となっ

ている。最も少ないのは鳥取県（3,988人）であり、次いで高知県（4,270人）となっている。

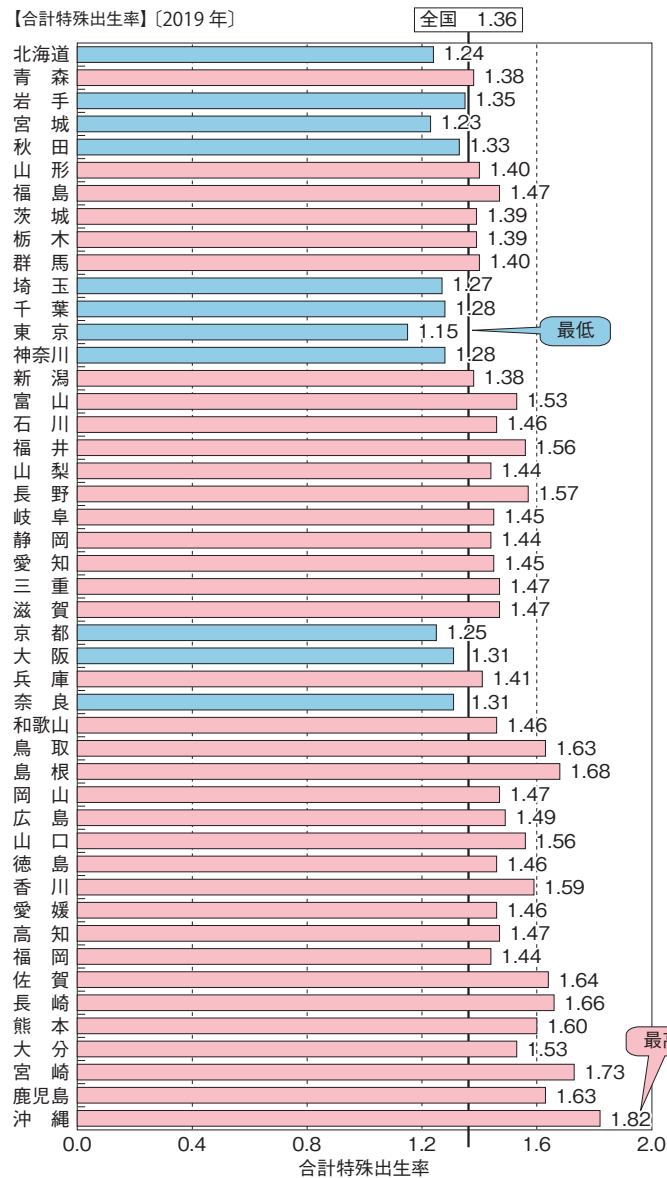
2019年の全国の合計特殊出生率は1.36であるが、都道府県別の状況を見ると、これを上回るのは36県であった。合計特殊出生率が最も高いのは沖縄県（1.82）であり、次は宮崎県（1.73）となっている。最も低いのは、東京都（1.15）であり、次いで宮城県（1.23）となっている。（第1-1-29図）

第1-1-29図 都道府県別出生数・合計特殊出生率



資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。

【合計特殊出生率】(2019年)



都道府県	2019年 (確定数) (a)	2018年 (確定数) (b)	2005年 (確定数) (c)	増減幅 (a-b)
北海道	1.24	1.27	1.15	0.09
青森	1.38	1.43	1.29	0.09
岩手	1.35	1.41	1.41	▲0.06
宮城	1.23	1.30	1.24	▲0.01
秋田	1.33	1.33	1.34	▲0.01
山形	1.40	1.48	1.45	▲0.05
福島	1.47	1.53	1.49	▲0.02
茨城	1.39	1.44	1.32	0.07
栃木	1.39	1.44	1.40	▲0.01
群馬	1.40	1.47	1.39	0.01
埼玉	1.27	1.34	1.22	0.05
千葉	1.28	1.34	1.22	0.06
東京	1.15	1.20	1.00	0.15
神奈川	1.28	1.33	1.19	0.09
新潟	1.38	1.41	1.34	0.04
富山	1.53	1.52	1.37	0.16
石川	1.46	1.54	1.35	0.11
福井	1.56	1.67	1.50	0.06
山梨	1.44	1.53	1.38	0.06
長野	1.57	1.57	1.46	0.11
岐阜	1.45	1.52	1.37	0.08
静岡	1.44	1.50	1.39	0.05
愛知	1.45	1.54	1.34	0.11
三重	1.47	1.54	1.36	0.11
滋賀	1.47	1.55	1.39	0.08
京都	1.25	1.29	1.18	0.07
大阪	1.31	1.35	1.21	0.10
兵庫	1.41	1.44	1.25	0.16
奈良	1.31	1.37	1.19	0.12
和歌山	1.46	1.48	1.32	0.14
鳥取	1.63	1.61	1.47	0.16
島根	1.68	1.74	1.50	0.18
岡山	1.47	1.53	1.37	0.10
広島	1.49	1.55	1.34	0.15
山口	1.56	1.54	1.38	0.18
徳島	1.46	1.52	1.26	0.20
香川	1.59	1.61	1.43	0.16
愛媛	1.46	1.55	1.35	0.11
高知	1.47	1.48	1.32	0.15
福岡	1.44	1.49	1.26	0.18
佐賀	1.64	1.64	1.48	0.16
長崎	1.66	1.68	1.45	0.21
熊本	1.60	1.69	1.46	0.14
大分	1.53	1.59	1.40	0.13
宮崎	1.73	1.72	1.48	0.25
鹿児島	1.63	1.70	1.49	0.14
沖縄	1.82	1.89	1.72	0.10
全国	1.36	1.42	1.26	0.10

資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。

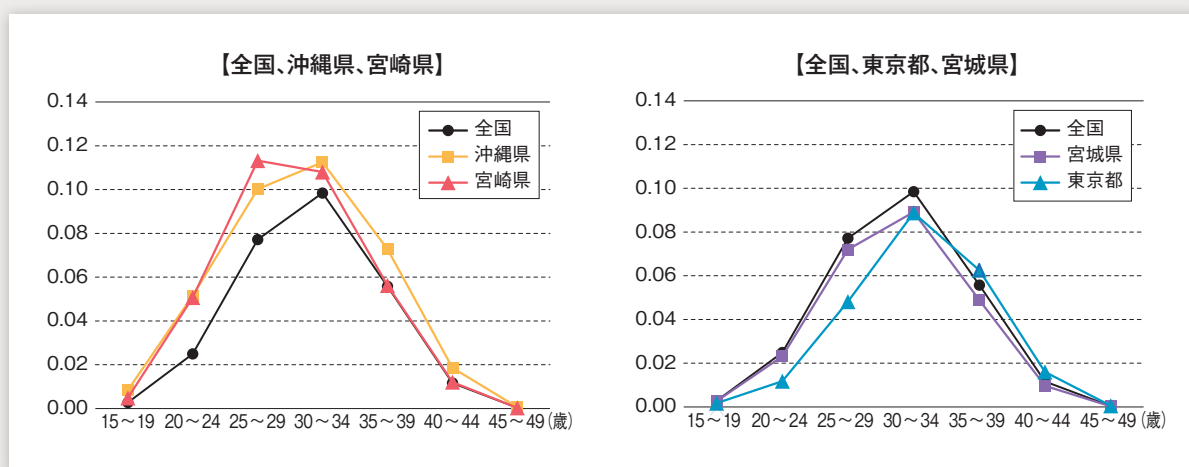
都道府県別の年齢別出生率

都道府県別の年齢別出生率をみると、全国の中でも合計特殊出生率の高い沖縄県、宮崎県は、いずれも15～34歳の出生率が全国水準よりも高くなっている。

一方、全国の中でも合計特殊出生率が低い

東京都、宮城県はそれぞれ異なる動きをしている。東京都では15～34歳の出生率が全国水準より低いのに対し、35～49歳では高くなっている。宮城県では15～29歳の出生率が全国水準並となっているのに対し、30歳以降の年齢では低くなっている。(第1-1-30図)

第1-1-30図 都道府県別の年齢（5歳階級）別出生率（2019年）



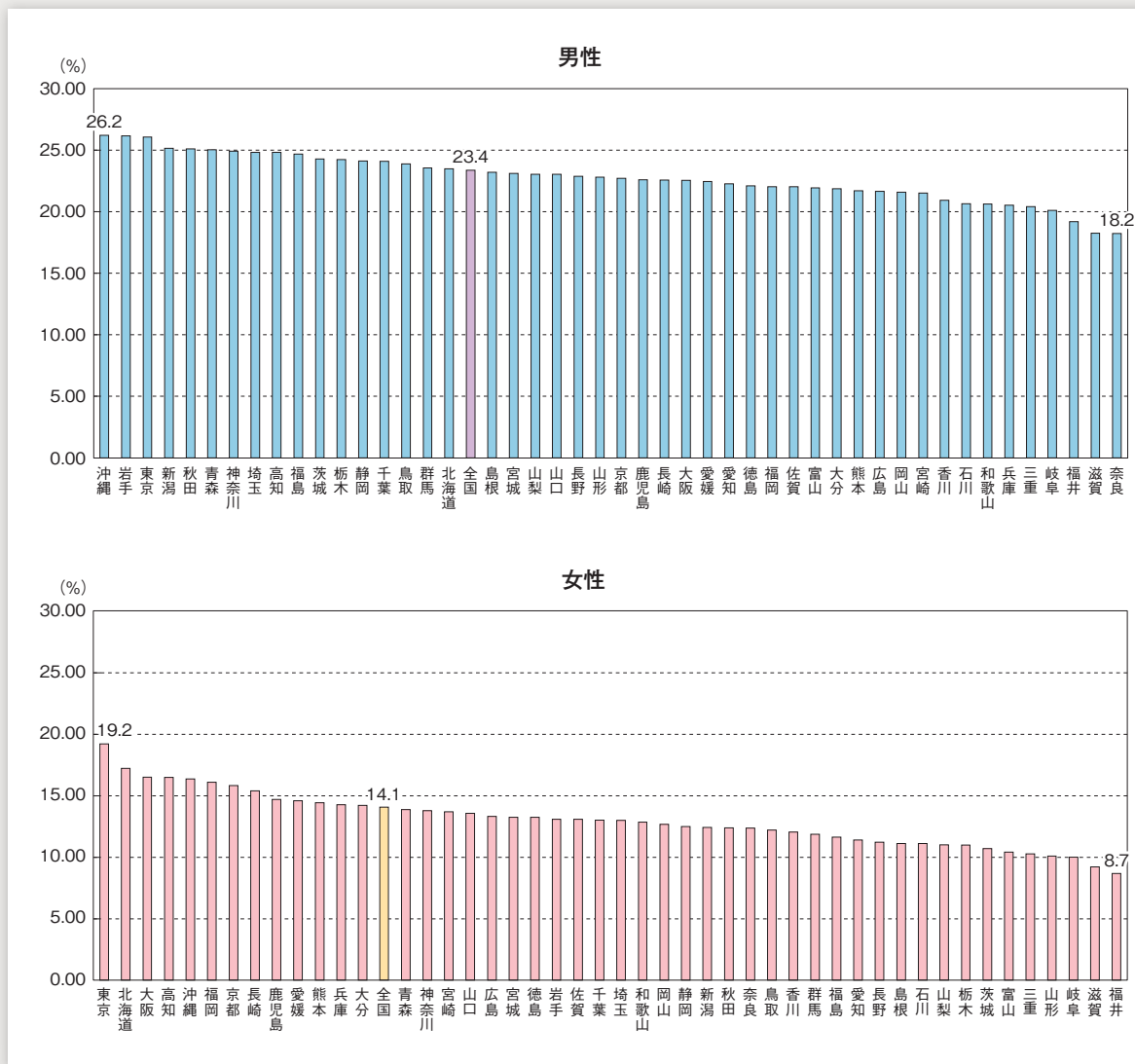
資料：別府志海・佐々井司「都道府県別にみた女性の年齢（5歳階級）別出生率および合計特殊出生率：2019年」『人口問題研究』第76巻第4号（2020年12月）、表1を基に作成。

都道府県別50歳時の未婚割合

2015年の全国の50歳時の未婚割合をみると、男性で23.4%、女性で14.1%となっているが、都道府県別の状況を見ると、これを上

回るのは男性で17都道県、女性で13都道府県となっている。この中で50歳時の未婚割合が最も高いのは、男性で沖縄県の26.2%、女性で東京都の19.2%となっている。（第1-1-31図）

第1-1-31図 都道府県別50歳時の未婚割合（2015年）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2021」を基に作成。